〈2025 年 7 月～12 月実施〉

生命保険一般課程試験

試　験　問　題【フォーム C】

● 注　意　事　項

1．試験時間は 40 分です。

2．試験問題は、全部で 82 問あります。《100 点満点》

問題 1 から 25 は、語群の中から適切なものを選ぶ問題《各 1 点：25 点満点》

問題 26 から 30 は、語群の中から適切なもの（数字・語句）を選ぶ問題《各 2 点：10 点満点》

問題 31 から 33 は、誤っているものを 2 つ選ぶ問題《各 4（部分点 2）点：12 点満点》

問題 34 から 37 は、誤っているものを 1 つ選ぶ問題《各 2 点：8 点満点》

問題 38 から 67 は、正誤を選ぶ問題《各 1 点：30 点満点》

問題 68 から 82 は、文章の中に入る適切なものを選ぶ問題《各 1 点：15 点満点》

業界共通教育課程試験等のテキストおよび試験問題の取扱方針について

・業界共通教育課程試験、生命保険講座試験および継続教育制度（以下、業界共通教育課程試験等という）のテキストおよび試験問題（過去問題を含む）の著作権は、生命保険協会に属します。

・テキストおよび試験問題（過去問題を含む）は業界共通教育課程試験等の教育および受験の目的にのみ利用するものとします。

・テキストおよび試験問題（過去問題を含む）の一部または全部を無断で複写・複製・転載・頒布・販売すること、ならびに磁気または光記録媒体、コンピューターネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き固く禁じます。なお、生命保険協会が許可した場合または法律で認められた場合であっても、当該行為により生じた結果について、生命保険協会は故意または重大な過失がある場合を除き一切の責任は負わないものとします。

一般社団法人　生 命 保 険 協 会

［保障の見直し - ①］

文中の空欄［ １ ］～［ ３ ］に入る最も適切なものを選んでください。

１.「契約転換制度」は、現在の契約を解約することなく、その［ １ ］や配当金など（転換価格）を新しい契約の一部に充当する方法です。

２.「定期保険特約の中途付加」により、現在の契約の保障内容や保険期間は変えずに、［ ２ ］額を増やすことができます。

３.「［ ３ ］契約」は、現在の契約はそのまま継続して、別の新しい保険契約に加入いただく方法です。

語群

ア. 責任準備金
イ. 既払込保険料相当額
ウ. 死亡保障
エ. 生存保障
オ. 追加
カ. 乗換

［保障の見直し - ②］

文中の空欄［ ４ ］～［ ５ ］に入る最も適切なものを選んでください。

１.「契約転換制度」による取り扱いを行う場合には、契約転換により、保障内容、保険金額、保険料などが全く新しく切り換わることを募集の際に［ ４ ］に説明することが必要です。

２. 適切な情報提供によって提案された転換契約についても、契約締結時には［ ５ ］によって、お客さま意向の反映を確認します。

語群

ア. 保険金受取人
イ. 契約者
ウ. 意向確認書面
エ. 保険証券

［契約の選択 - ①］

文中の空欄［ ６ ］～［ ７ ］に入る最も適切なものを選んでください。

１．生命保険会社が契約を選択するにあたっては、次の３つの危険について、それぞれの危険度の大きさを把握することが大切になります。

① 身体上の危険

②［ ６ ］上の危険

③ 道徳上の危険（モラルリスク）

２．生命保険協会では、契約引受時のモラルリスク対策として、「［ ７ ］」や「契約内容照会制度」を管理・運営しています。

語群

ア．経済
イ．環境
ウ．健康情報登録制度
エ．契約内容登録制度

［契約の選択 - ②］

文中の空欄［ ８ ］～［ 10 ］に入る最も適切なものを選んでください。

１．私たちは、契約者や被保険者に最も多く［ ８ ］でき、契約の選択を行ううえで重要な役割を果たしています。

２．生命保険会社が契約の選択を行った結果、個々の危険の性格や度合に応じて［ ９ ］や保険金削減、特定の疾病や部位の不担保などの条件を付けて契約することがあります。これを［ 10 ］付契約といいます。

語群

ア．面接
イ．メール
ウ．割増保険料
エ．割引保険料
オ．認定条件
カ．特別条件

［募集時の正しい説明 - ①］

文中の空欄［ 11 ］～［ 12 ］に入る最も適切なものを選んでください。

1．生命保険契約は生命保険会社と契約者との間でとりかわす約束ですが、この内容となるお互いの権利義務を規定しているのが［ 11 ］です。

2．生命保険会社はあらかじめ一定の契約条件、内容を定めた保険種類ごとの［ 11 ］を作成し、［ 12 ］の認可を受けて、公平に契約できるようにしています。

語群

ア．約款
イ．定款
ウ．消費者庁長官
エ．内閣総理大臣

［募集時の正しい説明 - ②］

文中の空欄［ 13 ］～［ 15 ］に入る最も適切なものを選んでください。

1．保険募集等の際、必ずお客さまに「［ 13 ］」および「注意喚起情報」を記載した書面を、契約の申込みを［ 14 ］交付・説明する必要があります。

2．運用リスクに［ 15 ］が求められる特定保険契約等では、「［ 13 ］」と「注意喚起情報」で構成される交付書面に、リスクの内容や負担すべき費用等も重要な事項として記載されています。

語群

ア．契約概要
イ．意向確認書面
ウ．いただいた後に
エ．いただく前に
オ．説明省略
カ．自己責任

［正しい告知の取り扱い - ①］

文中の空欄［ 16 ］～［ 17 ］に入る最も適切なものを選んでください。

1．生命保険会社は、告知書（告知欄）や診査医の診査報状、取扱者の報告などの他に、生命保険会社の職員または生命保険会社が委託した者によって告知内容などの確認を行う場合があり、これを「［ 16 ］」といいます。

2．生命保険会社は、契約成立後に「［ 17 ］」を契約者に送付し、契約内容の確認をお願いしています。

語群

ア．契約確認
イ．意向調査
ウ．保険証券
エ．定款

［正しい告知の取り扱い - ②］

文中の空欄［ 18 ］～［ 20 ］に入る最も適切なものを選んでください。

1．生命保険会社は、契約が契約日（または復活日）から［ 18 ］を超えて有効に継続した場合や、告知義務違反による保険契約の解除の原因を知ってから［ 19 ］以内に解除を行わなかった場合は、保険契約を解除できません（解除権消滅）。

2．告知義務違反の態様が特に重大な場合（現在の医療水準では治癒が困難または死亡危険の高い疾患の現病歴・既往歴等について告知をされなかった場合等）は、「詐欺による契約の［ 20 ］」になることがあります。

語群

ア．１年
イ．２年
ウ．１カ月
エ．２カ月
オ．取消し
カ．解約

［隣接業界 - ①］

文中の空欄［ 21 ］～［ 23 ］に入る最も適切なものを選んでください。

１．ＪＡ共済の生命共済は、［ 21 ］の監督のもとに、原則として農協（ＪＡ）の組合員とその家族を対象に事業を行っています。生命共済の種類には、民間の生命保険の終身保険や定期保険特約付終身保険に相当する［ 22 ］などがあります。

２．こくみん共済・各都道府県民共済の主な特徴としては、掛金は年齢・性別に関係なく一律のものが中心で、掛金建て（一定額単位の保障）となっていること、［ 23 ］更新の掛け捨てで、毎年の決算で剰余が出れば割戻金として返されることがあげられます。

語群

ア． 農林水産省
イ． 厚生労働省
ウ． 養老生命共済
エ． 終身共済
オ． １年
カ． ２年

［隣接業界 - ②］

文中の空欄［ 24 ］～［ 25 ］に入る最も適切なものを選んでください。

１．少額短期保険業者が取り扱うことのできる生命保険は、死亡保険・医療保険とも保険期間は［ 24 ］以内です。

２．ＪＡ共済の年金共済は、原則として農協（ＪＡ）の組合員およびその家族の老後生活を保障することを目的としたもので、年金の種類には終身年金タイプと［ 25 ］タイプがあります。

語群

ア． １年
イ． ２年
ウ． 定期年金
エ． 介護年金

［保険料の仕組み（収支相等の原則）］

文中の空欄［ 26 ］～［ 30 ］に入る最も適切なものを選んでください。（同じ解答を複数回使用してもかまいません。）

【設定条件】

1,000 人の 35 歳の男性が、本人を被保険者として各々2,000 万円の死亡保険（保険期間１年）に加入します。

なお、保険料は加入時に１年分を払い込むものとし、また、35 歳の男性の死亡率は 1,000 分の２とします。

また、付加保険料については考慮しません。

１．生命保険会社が支払う死亡保険金総額を求める計算

１人当たりの死亡保険金		１年間の死亡者数		死亡保険金総額
2,000 万円	×	［ 26 ］人	＝	［ 27 ］万円

２．契約者１人当たりの保険料を求める計算

死亡保険金総額		契約者数		１人当たりの保険料
［ 27 ］万円	÷	［ 28 ］人	＝	［ 29 ］万円

３．契約者全体が払い込む保険料総額を求める計算

１人当たりの保険料		契約者数		保険料総額
［ 29 ］万円	×	［ 28 ］人	＝	［ 30 ］万円

以上のとおり、収支相等の原則が成り立ちます。

語群

ア． １
イ． ２
ウ． ４
エ． ６
オ． ８
カ． 1,000
キ． 2,000
ク． 3,000
ケ． 4,000
コ． 5,000

31［資産の運用］

次の文章のうち、誤っているものを２つ選んでください。

ア． 生命保険会社は、契約者への保険料の還元（配当金の割り当て）をするために、積極的で投機的な資産運用をしなければなりません。

イ． 保険会社の資産は、多くの契約者から払い込まれた保険料をもとに成り立っていることから、国民経済や生活の向上に役立つような公共性をもった運用を行うことが必要です。

ウ． 生命保険会社の資産運用の対象に貸付金は含まれません。

エ． 生命保険会社の資産のうち、土地・建物などの不動産は、自社の営業用のものと投資用のものに分けられます。

32［相続の法律］

次の文章のうち、誤っているものを２つ選んでください。

ア． 法定相続の規定は、遺言に優先して実現させるという強い効力をもっていますので、法律で厳格な方式が定められています。

イ． 配偶者は常に相続人になります。ここでいう配偶者とは、内縁の場合は含みません。

ウ． 相続人が配偶者と子どもの場合の法定相続分は、配偶者が２/３、子どもが１/３です。

エ． 相続人が配偶者と兄弟姉妹の場合の法定相続分は、配偶者が３/４、兄弟姉妹が１/４となります。

33［お客さまニーズへの対応］

次の文章のうち、誤っているものを２つ選んでください。

ア．私たちの長い人生にはいくつかの段階（出生－成長－結婚－育児－老後）があり、これらの段階の変化を一般にライフバリューと呼んでいます。

イ．一家の働き手を世帯主である勤労者の夫とした場合、夫の死亡によって、残された家族のその後の生活がおびやかされないようにするためには、末子の成人（18 歳）までの生活資金（家族の生活資金）を確保すれば十分です。

ウ．社会保険制度として公的介護保険がありますが、要介護・要支援状態の認定要件を満たさない場合があることや、費用の自己負担分があること等、自助努力での介護資金に対する備えも必要不可欠です。

エ．経済準備を行う手段としてはいろいろ考えられますが、生命保険は将来に必要な資金を計画的に準備することができ、しかも、途中、万一のことが起きても目的の資金を必ず確保できるという点で、非常に有効な手段であるといえます。

34［生命保険の種類］

次の文章のうち、誤っているものを１つ選んでください。

ア．死亡保険のうち、保険期間を定めているものを定期保険といい、保険期間が被保険者の一生にわたっているものを終身保険といいます。

イ．契約してから一定期間が満了するまで被保険者が生存していた場合にのみ保険金が支払われる保険を生存保険といいます。

ウ．資産運用成果が期待できる反面、投資に伴うリスクも大きい変額保険は、その資産を定額保険の資産とは区分して運用する必要があります。そのため、会計上、変額保険の資産は一般勘定で運用されることになります。

35［生命保険の役割］

次の文章のうち、誤っているものを１つ選んでください。

ア．生命保険は、病気や災害などによる死亡の場合の遺族の保障だけでなく、病気やケガに対する医療資金の確保や老後の生活を保障する方法、子どもの教育・結婚、住宅資金などを確保する方法としても利用されており、幅広い機能をもっています。このような生命保険は、現在、私たちの家庭にとって欠かすことのできないものとなっています。

イ．現在では１世帯当たりの家族の構成人員が少なくなり、経済生活に必要な保障は自己の責任において準備すべきであるという自己責任意識はますます強くなっています。

ウ．各年齢者が将来平均して生きられる年数を「平均寿命」といいます。

36［私たちの役割と心がまえ］

次の文章のうち、誤っているものを１つ選んでください。

ア．生命保険募集人には、生活設計にもとづく家計管理の知識をはじめとして、各種保険商品やその約款、保険料・保険金等の税務、金融・経済・社会保障制度等の基本的な仕組みなど、お客さまに生命保険を理解していただくための専門知識が不可欠です。

イ．生命保険募集人の販売活動においては、契約の締結時だけではなく、その後も、お客さまには適切なアフターサービスを提供していくことが大切です。

ウ．生命保険の販売活動には、いくつかの法的な規制があり、預金保険法等に定められているルール以外にも、所属生命保険会社が定める行動規範や販売活動に関するルールがあります。

37［生命保険会社の仕組み］

次の文章のうち、誤っているものを１つ選んでください。

ア.「基礎利益」とは、生命保険会社の１年間の保険本業の収益力を示す指標のひとつで、一般の事業会社の営業利益や、銀行の業務純益に近いものです。

イ. 生命保険会社の経営形態が「相互会社」の場合、生命保険に加入した契約者は、原則として社員となり生命保険会社の運営に参加することになります。実際には、社員の中から総代を選び、総代会で会社運営上の重要なことがらを決めています。

ウ. 生命保険会社は、生命保険以外の事業を自由に営むことができます。

38［契約取り扱いの手続き］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

申込書に記入していただく契約者、被保険者、保険金受取人の姓名は、必ずしも戸籍等の公的書類記載のものである必要はなく、通称名でもかまいません。

正
誤

39［契約取り扱いの手続き］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

保険料を求める場合、まず契約者の生年月日から契約年齢を求め、次にその契約年齢をもとに、保険種類、保険金額などに応じた保険料を求めます。

正
誤

40［契約取り扱いの手続き］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

契約年齢を求める方法として「満年齢」を使用する生命保険会社と、いわゆる「保険年齢」を使用する生命保険会社があります。

正
誤

41［契約取り扱いの手続き］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

第１回保険料（充当金）領収証を書き損じたときや、汚したときには、正確なものを新しく発行することが必要です。また、書き損じたり、汚れたりした領収証は、生命保険会社に返還しなければなりません。

正
誤

42［契約取り扱いの手続き］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

新契約時の保険料が 30,000 円以上のときは、第１回保険料（充当金）領収証に 200 円の収入印紙をはります。

正
誤

43［保険料の払い込み］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

まだ払込期月がきていない将来の保険料の一部または全部をあらかじめまとめて払い込むことができます。これを前納といいます。この場合、払い込む保険料の割り引きはありません。

正
誤

44［保険料の払い込み］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

保険料の払込方法（経路）のうち、口座振替は、生命保険会社の定めた銀行、信用金庫などに保険金受取人の指定した口座がある場合に、その口座から保険料を生命保険会社の口座に振り替えることにより払い込む方法です。

正
誤

45［保険料の払い込み］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

契約者の所属する勤務先団体（集団）と生命保険会社との間に「保険料の取り次ぎに関する団体（集団）取扱契約」が締結されている場合に、その団体（集団）を経由して給与引き去りで払い込む方法を団体（集団）扱といいます。

正
誤

46［保険料の払い込み］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

保険料の払込方法（回数・経路）については、それぞれ途中で変更することができます。

正
誤

47［保険料の払い込み］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

第１回保険料（充当金）および継続保険料やその他保全サービス手続きの中でお客さまからお預かりした現金等の収受時には、必ず領収証の作成・交付が必要となります。

正
誤

48［生命保険の仕組み］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

生命保険は、大勢の人々がお金を出し合って大きな共有の準備財産をつくり、万一のことがあったときは、その中からまとまったお金を出して、経済的に助け合うという仕組みになっています。

正
誤

49［生命保険の仕組み］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

現在の生命保険制度では、死亡率を使って、それぞれの年齢・性別に応じた保険料を算出し、公平かつ合理的に助け合いをするようになっています。

正
誤

50［生命保険の仕組み］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

数少ない経験では何の法則もないようなことでも、数多くの経験を集めると、一定の法則があることがわかります。これを公平の法則といいます。

正
誤

51［生命保険の仕組み］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

死亡率とは、ある年齢の人が１年間に死亡する割合をいい、１年間の死亡者数をその年の年末の生存者数で割ったものです。

正
誤

52［生命保険の仕組み］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

生命表とは、ある集団（性別・年齢別）について死亡率を観察し、人の生死の法則を表にしたものです。

正
誤

53［生命保険の募集等に関する法律］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

危険職種にあたる職業の人に、加入制限があるので制限のない他の職種を告知するようにすすめることは、告知義務違反をすすめる行為として禁止されています。

正
誤

54［生命保険の募集等に関する法律］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

一般に同じ種類の保険ではないものを、あたかも同じ種類の保険のように比較した資料を使ったり、説明をしたりすることは、お客さまに誤解させるおそれのある表示や説明をする行為として禁止されています。

正
誤

55［生命保険の募集等に関する法律］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

消費者契約法は、消費者契約の対象を広くしていますが、保険契約は対象外です。

正
誤

56［生命保険の募集等に関する法律］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

「犯罪による収益の移転防止に関する法律（犯罪収益移転防止法）」の取引時確認が必要となるのは、生命保険契約の締結、満期保険金・年金・解約返戻金の支払い等の取引発生時や、200 万円超の大口現金取引時などです。

正
誤

57［生命保険の募集等に関する法律］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

「保険法」では、告知義務に関する商法の規定を見直し、保険会社が質問したことだけに答えればよいという義務（質問応答義務）に変更されました。

正
誤

58［保全・アフターサービス手続きと留意点］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

契約者は保険期間の途中で一時的にお金が必要になったときには、既払込保険料総額の範囲内で、生命保険会社から貸付を受けることができます。これを契約者貸付といいます。

正
誤

59［保全・アフターサービス手続きと留意点］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

契約者貸付は、生命保険会社が資産運用の一環として適正な利息で貸付を行う制度ですから、貸付を受けた契約では貸付を受けていない契約より配当金が少なくなります。

正
誤

60［保全・アフターサービス手続きと留意点］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

契約者への貸付金とその利息は保険期間内であればいつでも返済できます。また、保険金などが支払われる際に、未返済の貸付金や利息は、支払われる保険金などから差し引かれます。

正
誤

61［保全・アフターサービス手続きと留意点］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

払済保険や延長（定期）保険に切り換えた場合、元の契約の各種特約部分は変更後、消滅します。

正
誤

62［保全・アフターサービス手続きと留意点］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

さまざまな手続きにおいて、契約者本人以外の高齢者が保険金受取人等の請求権者となる場合もあるため、当事者本人が手続き不能な場合の支払いに関する「指定代理請求制度」や「成年後見制度」を利用した手続きの案内など、相応の配慮が必要です。

正
誤

63［社会保障制度］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

公的扶助制度には、「生活保護法」にもとづき、生活困窮者への程度に応じた保護と最低限度の生活保障およびその自立を手助けする生活保護制度などがあります。

正
誤

64［社会保障制度］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

社会扶助制度には、「児童手当法」にもとづき、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とした児童手当制度などがあります。

正
誤

65［社会保障制度］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

国民年金は、原則として 18 歳以上 65 歳未満のすべての国民が被保険者となる最も基本的な年金で、基礎年金として支給されます。基礎年金には老齢・疾病・遺族の３つがあります。

正
誤

66［社会保障制度］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

後期高齢者医療制度は、原則として 70 歳以上の高齢者（および 60 歳以上で一定の障害があり、広域連合の認定を受けた人）が、給付を受けることができます。

正
誤

67［社会保障制度］

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

公的介護保険の被保険者は、70 歳以上の第 1 号被保険者と 40 歳以上 70 歳未満の公的医療保険加入者である第 2 号被保険者です。

正
誤

68［契約申込み時の実務］

次の文章の［　　］に入る最も適切なものを選んでください。

お客さまの契約の申込みに対して、これを生命保険会社が認めることを［　　］といいます。

ア．承諾
イ．加入

69［契約申込み時の実務］

次の文章の［　　］に入る最も適切なものを選んでください。

生命保険会社が契約上の責任（保険金・給付金の支払いなど）を開始する時期を［　　］といいます。

ア．保険料払込期
イ．責任開始期

70［契約申込み時の実務］

次の文章の［　　］に入る最も適切なものを選んでください。

契約の申込みをしたあとでも、再度契約者が熟慮した結果、契約者が契約の取り消しを希望する場合もあります。この場合、①「契約申込みの撤回などについての事項を記載した書面」を交付された日、②「申込み」をした日、のいずれか遅い日を含めて消印日が［　　］以内であれば、文書（郵送）で申込みの撤回または解除をすることができるようにしています。

ア．８日
イ．14 日

71［契約申込み時の実務］

次の文章の［　　］に入る最も適切なものを選んでください。

契約の申込みをしたあとでも、契約者が契約の申込みの撤回または解除をすることができるようにしています。この制度を［　　］といいます。

ア．クーリング・オフ
イ．チェック・オフ

72［契約申込み時の実務］

次の文章の［　　］に入る最も適切なものを選んでください。

契約者が契約の申込みを撤回または解除することができる制度によって、契約者が契約の申込みを撤回または解除をした場合、生命保険会社は契約者に既払込金額を［　　］。

ア．お返しします
イ．お返ししません

73［剰余金と配当金］

次の文章の［　　］に入る最も適切なものを選んでください。

剰余金が生まれる原因は、死差益、利差益、［　　］の３つに分類されます。

ア．費差益
イ．為替差益

74［剰余金と配当金］

次の文章の［　　］に入る最も適切なものを選んでください。

同じ保障内容の場合、無配当保険は有配当保険に比べ、保険料は［　　］になります。

ア．割高
イ．割安

75［剰余金と配当金］

次の文章の［　　］に入る最も適切なものを選んでください。

配当金の支払方法のうち、配当金を契約が消滅するまで、あるいは契約者から請求があるまで、生命保険会社に積み立てておく方法の場合は、［　　］の定める利率により複利で運用されます。

ア．生命保険会社
イ．保険業法

76［剰余金と配当金］

次の文章の［　　］に入る最も適切なものを選んでください。

剰余金は契約者全体のものであり、契約者に還元されます。相互会社の場合、剰余金の［　　］を社員配当準備金に繰り入れ、これを財源として契約者に対し配当金を支払います。

ア． 一定割合
イ． 全額

77［剰余金と配当金］

次の文章の［　　］に入る最も適切なものを選んでください。

配当金の支払方法のうち、［　　］方法とは、保険料から配当金を差し引く方法です。

ア． 相殺
イ． 現金支払

78［企業向け商品］

次の文章の［　　］に入る最も適切なものを選んでください。

総合福祉団体定期保険は、従業員（役員を含むことができる）の死亡または所定の高度障害に対して保険金を支払う、［　　］更新の全員加入が原則の定期保険です。

ア． １年
イ． ３年

79［企業向け商品］

次の文章の［　　］に入る最も適切なものを選んでください。

企業が従業員に対して、老後の生活の安定を図るために、退職後の終身あるいは一定期間の年金支給に備えて積み立てるタイプの保険を企業年金保険といいます。主な企業年金制度には、「確定給付型の企業年金」と「［　　］」があります。

ア． 変額給付年金
イ． 確定拠出年金

80［企業向け商品］

次の文章の［　　］に入る最も適切なものを選んでください。

経営者保険の主な契約形態は、契約者が企業（団体）、被保険者が役員・幹部従業員、受取人が［　　］となっています。

ア．企業（団体）
イ．役員・幹部従業員の遺族

81［企業向け商品］

次の文章の［　　］に入る最も適切なものを選んでください。

勤労者財産形成制度（財形制度）にもとづく保険には、［　　］・財形住宅貯蓄積立保険などがあります。

ア．財形貯蓄積立保険
イ．財形教育貯蓄保険

82［企業向け商品］

次の文章の［　　］に入る最も適切なものを選んでください。

医療保障保険（団体型）は、健康保険の本人一部負担制と保険給付対象外費用の増加などに対応し、［　　］制度の補完を目的とした企業（団体）向けの商品です。

ア．公的介護保険
イ．公的医療保険

copyright (c) The Life Insurance Association of Japan, All rights reserved.